

南相馬市授業改善プランV

南相馬市では授業改善プランをもとに、平成27年度から授業改善に取り組んでいます。この冊子は、これまでの取組の成果と課題について振り返るとともに、新学習指導要領に基づく授業改善の在り方を踏まえ、今後の取り組み方についてまとめたものです。

授業改善プランイメージ図

目標

「できた」「わかった」「おもしろい」がえられる授業への挑戦
～『教え込む授業からの脱却』『暗記・再生型』から『思考・発信型』の授業へ～

キーワード

南相馬の授業スタイルⅠ・Ⅱの「確実な実践」
校内研修の充実「相互啓発による研鑽」

【授業改善プランⅡ】 「南相馬の授業スタイル」(授業スタイルⅠ)



- 相互に啓発する授業展開例
- 主体的に話したり書いたりする授業
- 暗記・再生型から思考・発信型の授業へ
- 「根拠つけて書く」力を育てるための3要素
- ノート指導・板書のポイント
- まとめのさせ方、適用のさせ方
- 家庭学習指導を「見える化」する
- 読書サイクルをフル回転させる

方法の共有
&
共通実践

【授業改善プランⅣ】 「新・南相馬の授業スタイル」(授業スタイルⅡ)



- 授業改善の合言葉
- 話し合い・学び合いを活かした授業
- 資料提示、課題提示を活かした導入
- 子供が主役！学び合いの授業展開
- 教師のコーディネート力の向上
- まとめ、振り返りの工夫
- 学力向上3つの鍵
- 学習過程における生徒指導

選択と集中
による
授業改善加速

授業改善の促進

「これまでの成果と課題」
「新学習指導要領への対応」を踏まえて

Q.1 これまでの取組の成果と課題は何ですか？

A. これまでの取組を振り返ることにより様々な成果や課題が見えてきました。

強みを生かすとともに、課題解決に向けたて手立てを明らかにして取り組むことが大切です。

(1) 「9つの課題」についてのアンケートより ※年2回（7月、12月実施）

アンケート項目	評価
授業では、話し合う活動をよく行っている。	◎
授業では、写真や図表・新聞記事などの資料を読み取って、自分の考えを話したり書いたりしている。	○
授業では、みんなの前で説明したり発表したりすることが多い。	▼
授業では、自分なりに考えたことを、書いてまとめることが多い。	○
ノートやプリントに本時のめあて(学習課題)とまとめを書いている。	◎
授業の最後に、練習問題を解いたり、感想を書いたりして学習内容を振り返っている。	◎
家では、自分で計画を立てて勉強をしている。	○
読書は好きだ。	◎
授業中、先生からほめられたり、はげまされたりすることが多い。	▼

成果

- ①話し合い活動の設定
- ②めあて・まとめの記述

課題改善ポイント

- ①表現の場・方法の工夫
- ②場を捉えた賞賛

各質問項に対して「そう思う」と回答した児童生徒の割合を※市の目標値に照らした評価

◎目標値を上回る（+5%を超える） ○目標値と概ね同程度（±5%以内） ▼目標値を下回る（-5%を超える）

※ 市の目標値（40%）は、全国学力・学習状況調査の全国平均値を参考に定めた値（割合）

(2) 全国学力・学習状況調査の結果より

①学力調査より

○「**小学校国語**」は全校平均正答率を上回った。

○「**活用力を問う問題**」に課題が見られた。



※ 活用力の育成に向けた指導改善の例（令和元年度全国学力・学習状況調査「報告書」中学校数学・関数領域指導のポイントより）

○ 問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実すること

○ 問題解決のために表した表・式・グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を充実すること

②児童・生徒質問紙調査より

アンケート項目	小学校	中学校
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	+7.0	+4.5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	+4.2	+1.2
自分には、よいところがあると思いますか	-4.2	-2.7
前の学年までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使いましたか 「ほぼ毎日」	+27.4	+8.5
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	+3.7	+2.4

成果

- ①小学校国語の学力向上
- ②児童生徒に寄り添った指導
- ③ICT等、教育機器の活用
- ④家庭学習の習慣化

課題改善ポイント

- ①活用力の育成
- ②自己肯定感の育成

令和元年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙から「当てはまる」の割合（%）を全国と比較

(3) 教員交流研修の感想より

- ① 確かな学力を身に付けるには、自分の言葉で学びや考えをまとめることや、適用問題で身に付けた力の確認が不可欠。
- ② ゴールから逆算した授業の組み立て、教師の発問、指示等の精選が重要。
- ③ 終末の振り返り、適用、まとめに課題がある。
- ④ 授業改善に向け、研修主任が中心となり、現職教育の充実を図る。

課題改善ポイント

- ①単元構想・授業づくりの工夫
- ②校内研修の更なる充実

Q. 2 新学習指導要領に基づく授業改善のポイントは何ですか？

A. 「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を重視して授業を改善することが大切です。

- ① 一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
- ② 見通しをもって粘り強く取り組む力が身につく授業
- ② 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ④ 自分の学びを振り返り、次の学びに生かす力を育む授業



南相馬の授業スタイルⅠ・Ⅱを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善に取り組んでいきましょう

Q. 3 今後の授業改善のポイントは何ですか？

A. これまでの成果と課題、新学習指導要領の授業改善のポイントを踏まえて、次の4点について重点的に取り組むことが大切です。

- ① 活用力を育成しよう
 - 「考える・話す・書く」活動を多く取り入れた「子供が主役の授業の実践」
 - 話し合い・学び合いを通じた「考える力・協働して解決する力の育成」
- ② 単元構想・授業づくりを工夫しよう
 - 遡り型の授業づくり「めあてとまとめの整合性」
 - まとめ・適用問題・振り返りの重視「振り返りの時間の確保」
- ③ 校内研修を充実させよう
 - 互見授業の推進「指導技術の伝承・教師同士の研鑽による指導力の向上」
 - 子供の姿で語り合う研修の推進「ワークショップ型の事前検討会・事後協議会」
- ④ 自己肯定感を育成しよう
 - 生徒指導の3機能を生かした授業づくり「自己有用感」
 - 児童生徒が親和的で相互交流が活発な学級づくり「Q-U検査の活用」
 - ほめる・認める・励ます指導の推進「さらに意識して!」



「全国学力・学習状況調査」「ふくしま学力調査」「南相馬市学力調査」等の各種調査の分析や、学校訪問、モデル授業等に関する支援の機会を通して、各学校において授業改善が着実に進んでいると捉えております。

さらに、「南相馬の授業スタイル」と「新南相馬の授業スタイル」を活用して、授業改善を促進し、子供たちの資質・能力の育成に取り組んでいきましょう。

Q. 4 市ではどのような研修支援を行っていきますか？

A. 市教育委員会では、本市の強みを生かした研修支援を行っていきます。

南相馬市教育委員会の教育支援策

授業改善支援

- ① 授業改善プランの周知・実践促進
- ② Q-U 検査と生徒指導訪問の実施

研修支援

- ① 先進地視察研修
- ② 先進地との教員交流研修

ICT 環境の充実

- ① Pepper によるプログラミング教育の推進
- ② 電子黒板、タブレット端末の配置

各種教育充実に向けた人的配置

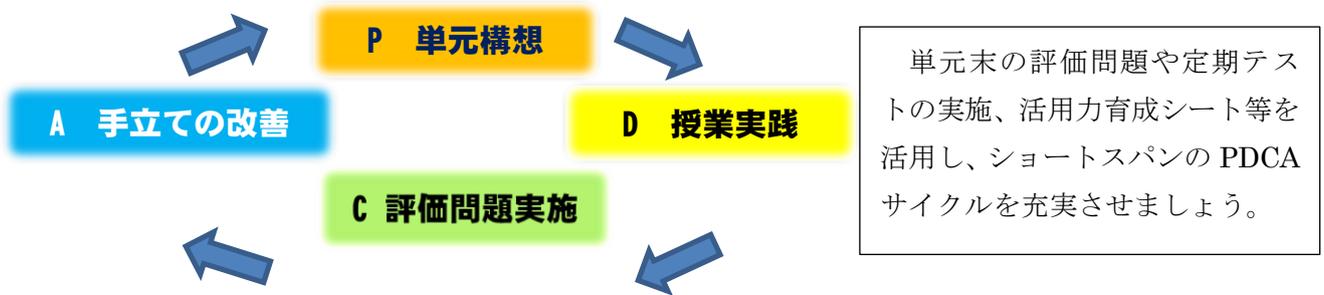
- ① 小学校外国語科に伴う ALT の適正配置
- ② 学校司書の全校配置



Q. 5 どのように検証し、改善を進めていきますか？

A. **PDCA サイクル** が重要な鍵となります。日々の授業・単元等のショートスパンによる検証・改善と、1年間のロングスパンによる各種調査や学力向上に関するアンケート等をもとにした検証・改善が大切です。

ショートスパンの例



ロングスパンの例

D

**P 学力向上グランドデザイン
現職教育テーマの周知・確認**

**C 全国学力・学習状況調査
ふくしま学力調査
南相馬市学力調査
各種調査の分析
授業改善の重点作成**

**A 手立ての改善
取り組む視点の明確化**

年度当初に、学力向上グランドデザインや現職教育計画を全職員が共通理解し、学力向上に向けて、組織的・計画的に取り組んでいきましょう。

指標となる各種調査結果の分析・改善策の検討等は、該当学年や教科担任など、一部の教員だけでなく、すべての教員で行い、改善の手立て等を共通理解し、日々の授業の充実を図りましょう。

検証・改善のポイント
PDCA サイクルの確立・充実
全職員による共通理解・実践

